



シェードポール

この度は、当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

末長くご愛用いただくために、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい施工とご使用をお願いします。

施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

設置・施工上のご注意

【警告】

- 屋上などの高所や強風が予測される場所、強い振動、衝撃のある場所に設置しないでください。
- シェードは、現場に応じた十分な強度を確保できる場所に取り付けてください。
- 組立品は取扱説明書の手順に従って各部品をボルト、ナット等で確実に締めてからご使用ください。
- 組み立ては安全に作業できるよう、また手や指を挟まないようご注意ください。
- 組立施工完了後にボルト、ナット、ビスのゆるみがないか再点検し、施工の汚れを取り除いてください。
- 調整ロープが体に巻き付いたり、引っかかるようなことをしないでください。
- 調整ロープの近くにテーブルやソファなどの足掛かりになるものを置かないでください。小さなお子様がテーブルやソファなどに上がることで、調整ロープに手が届き、思わぬ事故につながる恐れがあります。

【注意】

- 施工完了後に取扱説明書を施主様にお渡しするとともに、取扱方法およびメンテナンスについて十分ご説明ください。
- 給湯、暖房機などの排気熱が、商品に直接当たらないように施工してください。
- 組み立て、施工中は、商品が地面に固定されていないため、少しの風でも商品が変形して、破損することがあります。風の影響を受けにくい場所で作業を行ってください。
- シェードの設置において、生地の劣化や金具の破損を抑えるためにも、しっかりとしたテンションをかけてください。
- 保護者の方は、お子様がロープで遊ばないようにしてください。思わぬケガや事故を起こす可能性があります。

使用上のご注意

【警告】

- 日よけとしての目的以外の用途には使用しないでください。
- 商品に登る、よりかかる、ぶら下がる等の行為はおやめください。商品の破損や事故の原因になり、ケガをする危険があります。
- 強時や雨天時はシェードを室内に収納してください。予期しない突風の場合にも、すみやかに柱からシェードを取り外してください。
- 10m/s以上の強風時には必ず柱からシェードを取り外してください。

【注意】

- シェード類は風の影響を受けやすい商品です。管理者のもとに使用し、離れるときは必ず柱から外してください。また風向きには十分ご注意ください。
- 使用前には必ず、商品が完全に組み立てられたことを確認してからご使用ください。
- 商品の移動の際は引きずらず、手で持ち上げて通んでください。特に重量物は持ち上げる際にご注意ください。
- 商品の移動操作はゆっくりと確実に行ってください。その際に商品のすき間に手や指を入れないでください。
- 布製品が水に濡れた場合は、完全に乾燥させてから閉じてください。濡れた状態で収納するとカビの発生の原因となります。
- お子様、高齢者、妊婦、また身体の不自由な方がご使用される場合は、安全のために周囲の方が配慮、ご注意ください。
- 長くお使いいただくためには定期的なメンテナンス(P7)をおすすめします。
- シェード類は、屋外用として製造されていますが、屋外では紫外線、風雨、ホコリなどによる影響を受けて、素材の特性である経年変化(サビや色の变化など)の発生、商品の劣化や汚れの付着が起きます。また商品の置かれる環境や日常のご使用方法、メンテナンス等で、商品の寿命も大きく変わります。素材の特性や形状、機能をご理解いただき、安全に楽しく、末永くお使いいただきますようお願いいたします。
- 万一破損した場合、また商品に異変を感じた場合には、すみやかに使用を中止し、購入店またはお近くの当社本支店、各営業所までご連絡ください。
- 柱は風の影響を受けてたわむ場合があります。

安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解して本文をお読みください。また、本説明書および当社カタログに記載されている内容に反する施工やご使用をされた場合、保証対象外となります。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡もしくは重傷を負う可能性がある危険度が「高い」内容を示しています。



注意

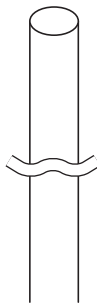
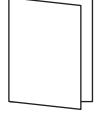
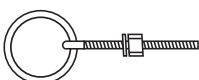
取り扱いを誤った場合、使用者が中、軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の可能性があり危険度が「中、軽い」内容を示しています。

※この取付・取扱説明書は、工事完了後お客様にお渡しください。

部品構成

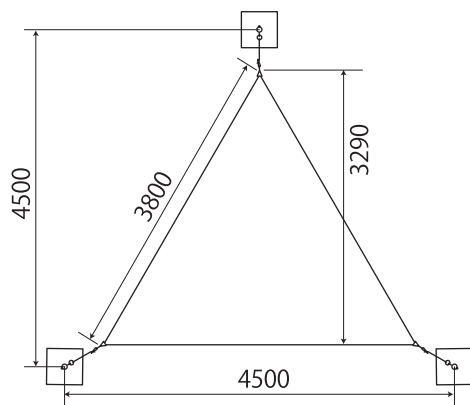
取り付ける前に**必ずお読み下さい。**

開梱時に種類と数量を確認してください。商品に破損や異常がないかを確認してください。

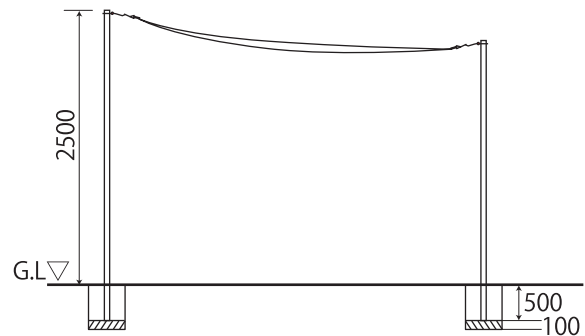
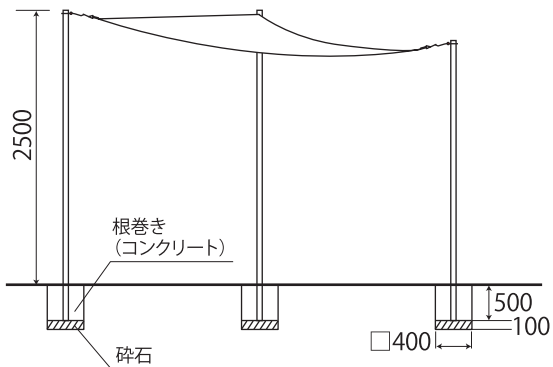
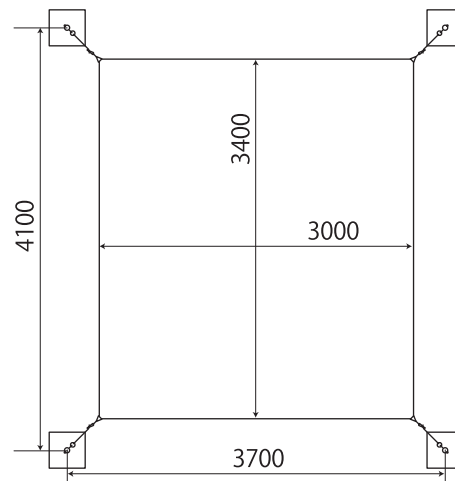
名称	姿図	数量	名称 & 姿図	数量
柱		1	 組立・施工 取扱説明書  M8用 緩み止めナット ×1  丸カンボルト  M8用 平ワッシャー ×1	各1

寸法図

例) トライアングル3800の場合



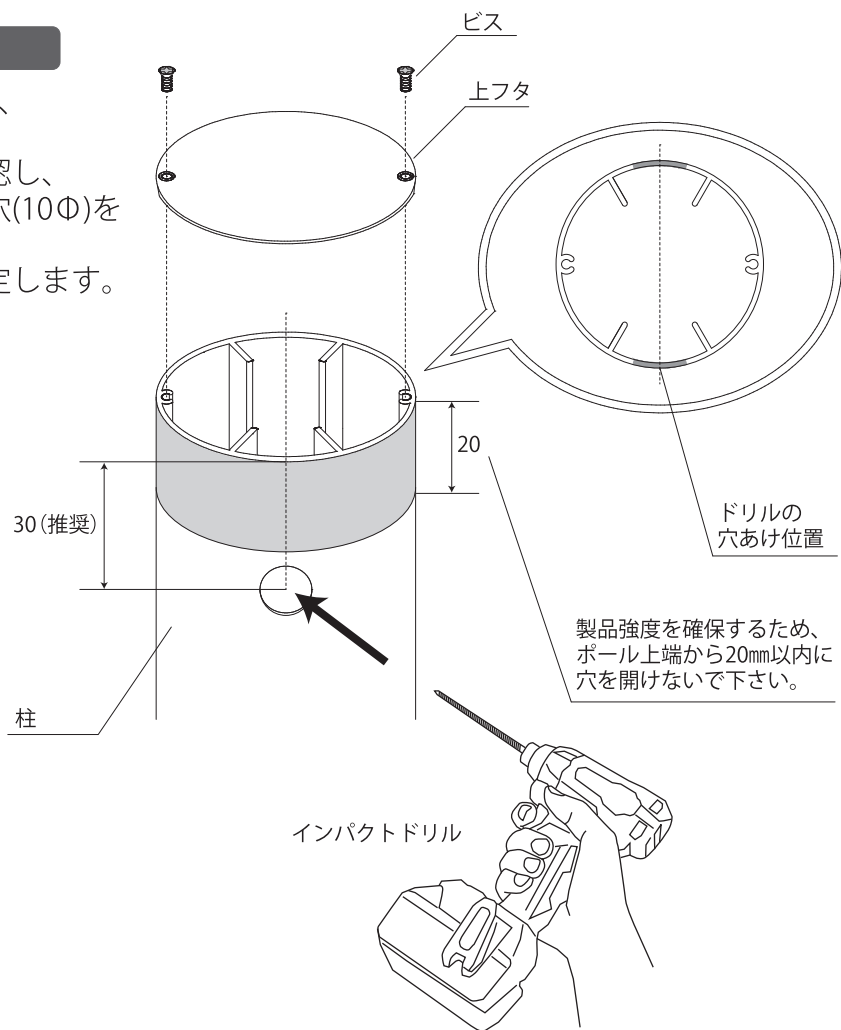
例) スクエア3000×3400の場合



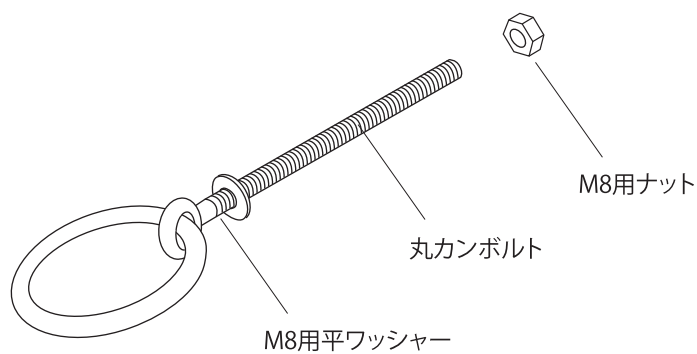
※高さは、本体 $l = 3000$ ですので任意の高さにしていただけますが、根入り500mm推奨です。(地上高最大2500m)
 ※美観(びじま)は防汚加工、防水加工を施しておりません。雨水や汚れが溜まらないよう、傾斜をつけた角度での取り付けをおすすめします。

柱への部品取り付け

- ①上部2点ビスを緩め、上フタを外します。
- ②穴開けの位置を確認し、柱にドリルで貫通穴(10Φ)を開けます。
- ③上フタをビスで固定します。



- ②丸カンボルトを取り付けます。すでに取り付いているM8用ナットのみを一旦取り外します。
図のようにボルトの一番根元まで、M8用ワッシャーを入れます。

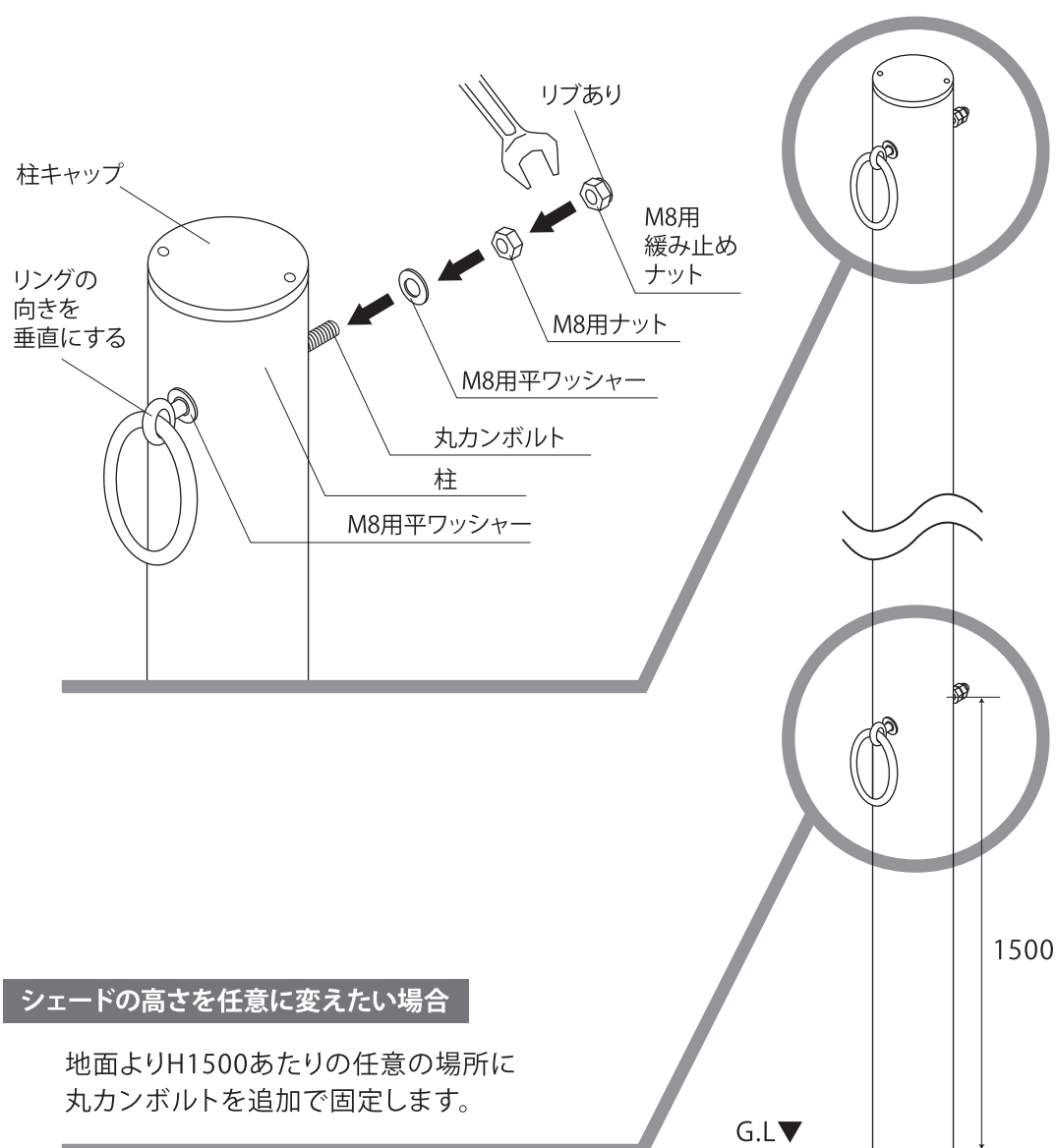


柱と丸カンボルトの取り付け

丸カンボルトを柱の先端の通し穴に入れ、
M8ワッシャー、M8用ナット、M8用緩み止めナットの順で固定します。
必ず順番を守ってください。ボルト側のリングの向きが垂直になるように固定します。

※M8用緩み止めナットの取付方法

- ①M8用緩み止めナットは、必ずリブがある側を外側になるように取付けて下さい。
- ②リブが付いている位置までは、手で回転して取り付けてください。(途中から手では回転できなくなります)リブが付いている部分からは、スパナ等の締付工具を必ず使用して取り付けて下さい。



シェードの高さを任意に変えたい場合

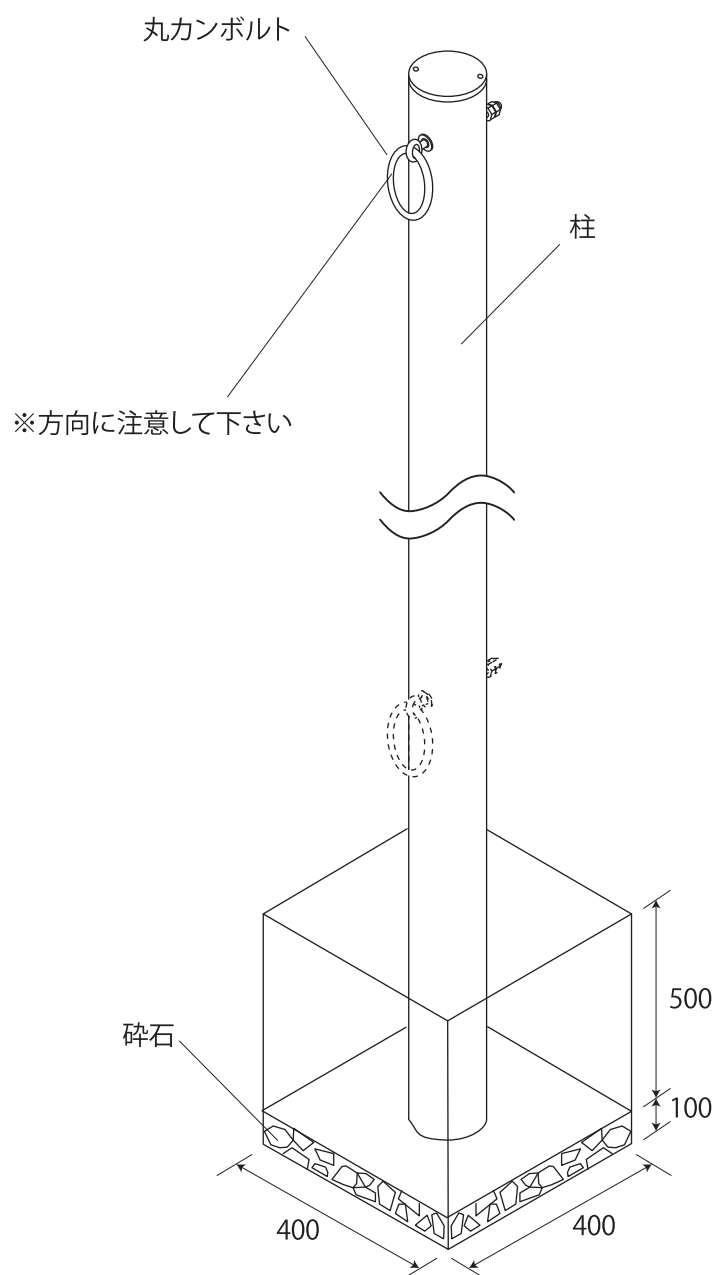
地面よりH1500あたりの任意の場所に
丸カンボルトを追加で固定します。

組立・施工の手順

柱の固定

①組み立てた柱を建て込んで下さい。

※柱の方向に注意して下さい。丸カンボルトの輪がシェードの中心に向くように納めて下さい。

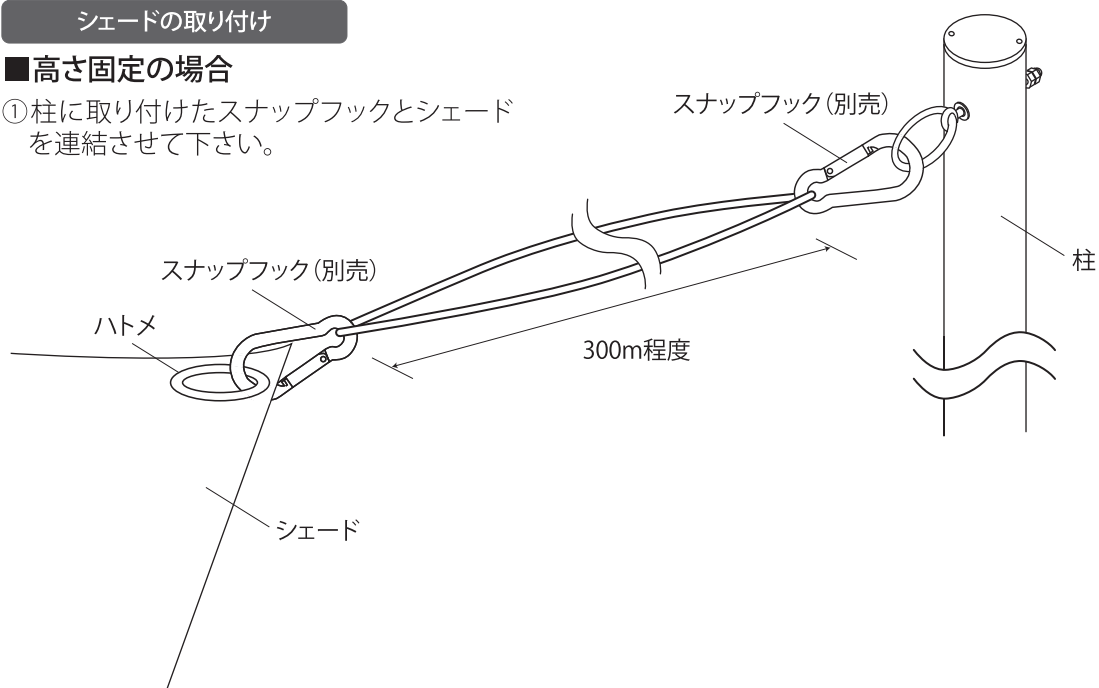


組立・施工

シェードの取り付け

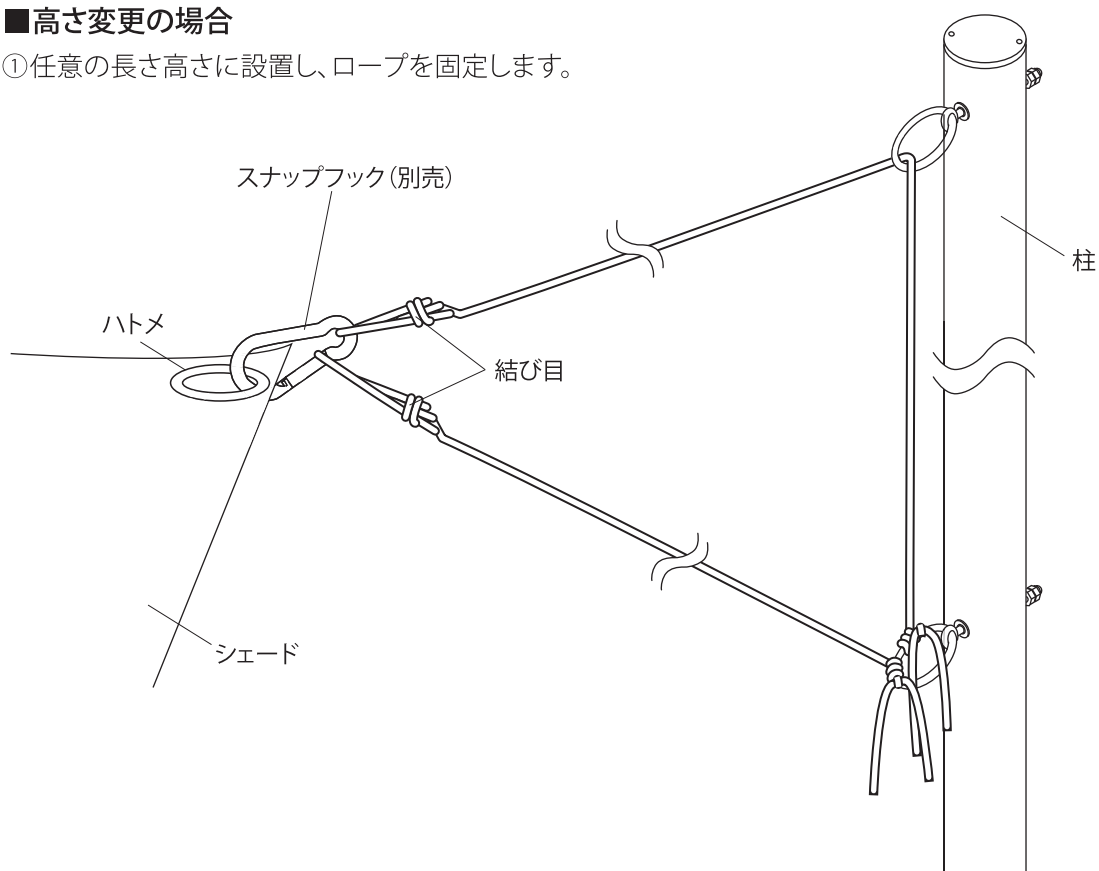
■高さ固定の場合

- ① 柱に取り付けたスナップフックとシェードを連結させて下さい。



■高さ変更の場合

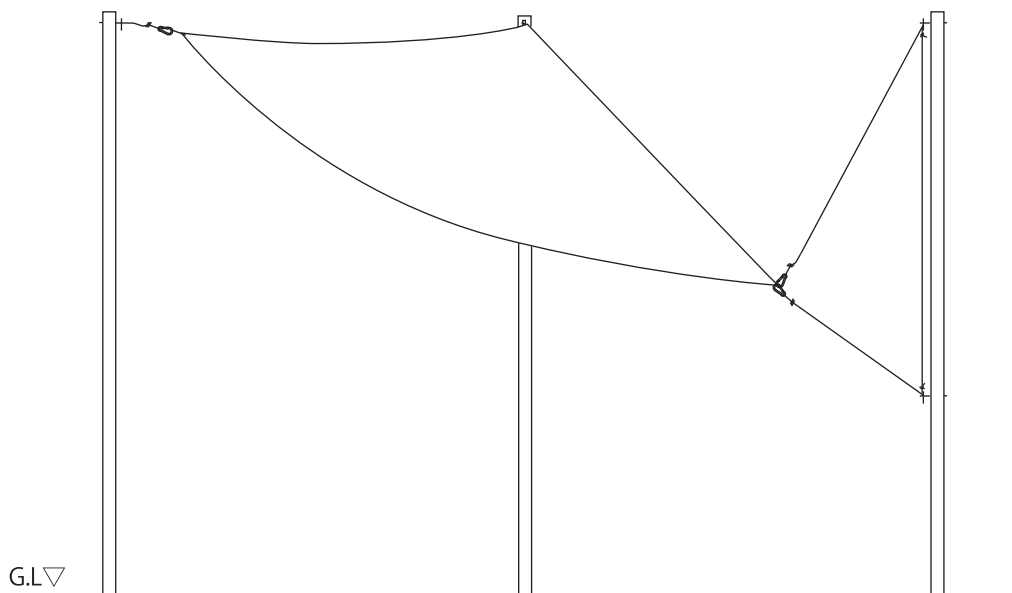
- ① 任意の長さ高さに設置し、ロープを固定します。



組立・施行

納まりイメージ

トライアングルを一ヶ所下げた場合



※高さ調整のトライアングル納まりの一例になります。

メンテナンス

〔シェードポール〕

お手入には、布やスポンジなどで水拭きした後、からぶきしてください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めて、汚れを落とし、十分水拭き後、からぶきをしてください。

金属ブラシや目の粗いやすりなどは、使用しないでください。小石や砂が付いたままにするとアルミの表面に傷がつく場合があります。

工業地帯や海辺近くでは、こまめなお手入れで、いつまでも美しくお使いいただけます。

〔シェード〕

定期的に水洗いや汚れのひどい場合は、中性洗剤など洗い 十分な水洗い後 完全に乾燥させてから収納してください。

また、ロープなど不具合がないかも点検してください。

シェードは、手入れにより寿命が大きく変わりますので、季節が終わったら手入れをし、必要な時期だけのご使用をお勧めします。

※美観(びま)は防汚加工、防水加工を施しておりません。雨水や汚れが溜まらないよう、傾斜をつけた角度での取り付けをおすすめします。

以上 ご不明な点は、販売店にお気軽にお尋ねください。